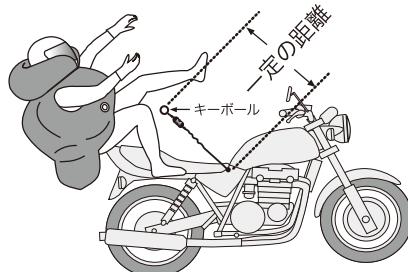


走り出す前に、バイクに股がった状態でワントッチコネクターを接合します。



ヒットエアー(衝撃緩和保護システム)は、バイク乗用の際、上衣として着用します。

転倒、衝突などによってライダーがバイクから一定の距離(※1)離れた瞬間に、キーボールが抜け、キーボックスが作動しカートリッジボンベの炭酸ガスが各気室に送り込まれ、瞬間にエアバッグが膨張します。その膨張した気室が、人体と外部の接触物の間に入り、衝撃を緩和する仕組となっています。このような特性を持って人体各部への損傷を少しでも軽減出来る事を目的として作られたシステムです。

「本製品は、着用していれば必ず安全である、又、安全を保証するというものではありません」

キーボールは、簡単に抜けない仕組みになっており(キーボックス(P9)参照)走行時に予想される、ライダーのスタンディングなどの動作は、伸縮ワイヤーによって吸収され作動しないようになっています。

(※1) 一定の距離とは、ヒットエアーを着用し、ワントッチコネクターを接合してバイクとつながった状態で、バイクに固定されている伸縮ワイヤーが何の障害(※2)もなく伸びきった状態の距離をいう。方向は前後左右を問わず同じである。

(※2) 障害とは、ヒットエアーを着用し、ワントッチコネクターを接合してバイクとつながった状態で、伸縮ワイヤーに障害物(車両、荷物、その他)などが触れたりからんだ場合の事をいう。

これらの場合、一定の距離に至らなくても作動する事があります。